

## 企画展「暁斎・暁翠 旅と風景」展

会期：2017年3月1日（水）～4月25日（火）

〔休館日：毎週木曜、3月26日～31日〕

入館料：一般320円、中～大学生210円、小学生以下105円、団体要予約（20名以上）

開館時間：10時～16時

暁斎は、風景画を極めるため、長野や日光に写生旅行へ出かけました。また、娘の暁翠は、父暁斎よりも広範囲に旅行し、旅先での写生を残しています。本展では、旅先で描いた写生図のほか、名所絵や幕末・明治の江戸・東京を描いた版画をご覧ください。

河鍋暁斎記念美術館の  
HPへはこちらから→

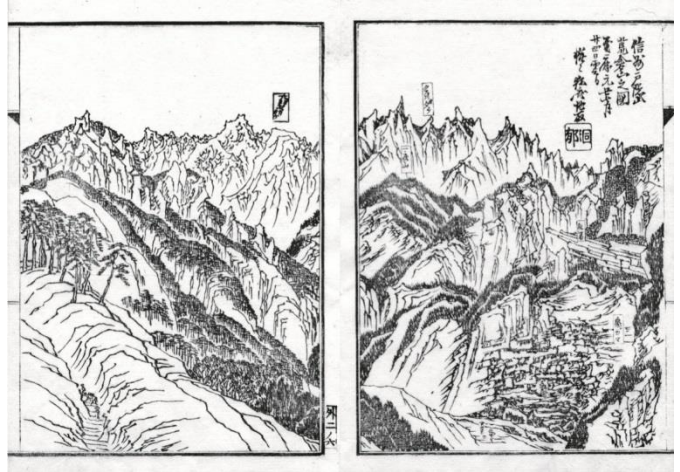


河鍋暁斎記念美術館

### 『暁斎画談 外編卷之二』 信州戸隠荒倉山之図

河鍋洞郁画、瓜生政和編 版本4冊 明治20年（1887） 板元・岩本俊

『暁斎画談』は、暁斎晩年の明治20（1887）年に出版された版本で、暁斎の生涯を外編2冊に、暁斎が学んだ様々な流派を内編2冊にまとめたものです。戯作者・瓜生政和（梅亭金鷲）が編集しましたが、挿絵は全て暁斎が描いていますので、自伝的な本といえます。外編には、暁斎が生涯ただ一度、長期にわたり（半年程度）遊歴して歩いた慶応元年の信州旅行も描かれています。暁斎は峻険な山並みを写生し会得するために信州へ出かけたと述べており、ここに挙げたような険しい山々を写生したり、戸隠神社社中に龍の天井絵を描いたり、名月で有名な姥捨て山の田毎の月を描いたのです。



### 様々な経験をひとつひとつ大切に くるみ保育園長 松本麻紀

まだまだ寒いですが、春一番も吹き、保育園の桜の枝先も日に日に膨らんできています。お天気のよい日が続き、乳幼児もお庭で元気いっぱい遊ぶ毎日です。

2月は豆まきで始まりました。「鬼をやっつける！」と意気込んでいた子どもが多かったのですが、いざ鬼の登場に保育士のまわりにひつつき大泣きする姿もたくさん！でも、豆をまいて病気や心の中の悪い鬼を退治できたことでしょう。

一中のワーキングや南小との交流会もありました。「大変だったけど楽しかった。」「ちいさな友達ができました。」と話してくれる中学生に、心が温かくなるとともにこういう交流を大切にしたいと思っています。交流会では来年入学をする年長さんに一年生がかっこいい姿を披露してくれ、期待も膨らんできています。大きくなった懐かしい顔との再開も

♪嬉しかったです。

ただ今保育園のホールは、年長さんが様々な魚を作り『くるみ水族館』となっています。大きなエイやマンボウといった水族館の人気者がたくさん！小さい子たちも毎日目を輝かせて見えています。年長さんは親子遠足で水族館を訪れるのを楽しみにしています。

3月初めはお雛様を展示。その後は年中、年少さんの動物園に変わる予定です。年中さんは新聞紙をちぎって水と洗濯のりでこねこねしての紙粘土づくりを経験。物があふれる今、一から作るという経験もよいものですね。どんな動物園になるのか今からワクワクします。

今年度も残りひと月となりました。いろいろな活動のなかに成長した姿を感じる日々。一日一日を大切に過ごしていきます。